

平成30年度文部科学省委託事業

有害環境から子どもを守るための推進体制の構築（青少年安心ネット・ワークショップ）

青少年のネットトラブル防止大作戦

ひょうごケータイ・スマホワークショップ

スマホサミット

inひょうご2018

報告書



公益財団法人

兵庫県青少年本部

Hyogo Youth Services Administration

## ■「ひょうごケータイ・スマホワークショップ」事業概要

兵庫県では、青少年のインターネット利用対策として、従来より青少年愛護条例で原則義務化しているフィルタリング利用等の啓発を積極的に展開するとともに、全国で初めて、県内全ての人々が青少年のインターネット利用に関するルールづくりを支援することを条例で定め、産官学民言の様々な主体が連携・協働して支援等を推進しています。

その一環として、青少年が主体となって現状への具体的な対応策を考える「ひょうごケータイ・スマホワークショップ」を実施するとともに、その活動結果を発表する全県大会「スマホサミットinひょうご」を開催して、社会全体で青少年とともに考え、取組の輪をさらに広げる機会とし、県内各地域でのルールづくりの深化を図ることとしました。

### ■成果目標

- ・ワークショップで内容を検討するアンケートを県内の小中高校生に実施するとともに、保護者アンケートを併せて実施することで、県内青少年のインターネット利用実態と保護者の意識との相関関係を把握し、青少年とともにより具体的なインターネット利用対策を検討する。
- ・アンケートやワークショップの集大成として、青少年を中心にインターネット利用について考える全県大会「スマホサミットinひょうご」を開催し、これまでの活動の発表や活動で得られた知見をもとにした標語「ひょうごスマホ宣言」の策定・発表を行い、啓発活動に活用する。
- ・これらの周知より、青少年のインターネット利用対策やルールづくりの深化を図り、青少年の安全・安心なインターネット利用環境整備の一助とする。

### ■事業概要

- ・ひょうごケータイ・スマホワークショップ（全3回）
- ・スマホサミットinひょうご2018
- ・ひょうごケータイ・スマホアンケート／インターネット夢中度調査
- ・青少年による啓発活動

■参加対象 兵庫県内に在住、在学の小・中・高校生 40名程度

■参加者 中2～高2 7校 46名  
(中2：2、中3：11、高1：19、高2：14)

### ■主催者等

主催 公益財団法人兵庫県青少年本部、兵庫県

共催 青少年のネットトラブル防止大作戦推進会議

コーディネーター 兵庫県立大学環境人間学部 竹内 和雄 准教授

ファシリテーター 一般社団法人ソーシャルメディア研究会 10名



## ■ひょうごケータイ・スマホワークショップ

兵庫県青少年本部では、ケータイ・スマホの問題点やインターネット利用の現状や危険性について考える青少年参加型の「ひょうごケータイ・スマホワークショップ」を開催することとし、県下全域から参加者を募ったところ、7校（中学校2校、高等学校5校）から参加申込みがありました。

ワークショップは、コーディネーターに兵庫県立大学環境人間学部 竹内 和雄 准教授を、ファシリテーターに一般社団法人ソーシャルメディア研究会の大学生を迎え、3回にわたって実施しました。

### ～「ひょうごケータイ・スマホワークショップ」参加校～

神戸市立渚中学校 篠山市立篠山東中学校 兵庫県立赤穂高等学校 兵庫県立伊川谷高等学校  
兵庫県立千種高等学校 啓明学院高等学校 兵庫県立大学附属高等学校

## ■第1回ワークショップ（6月24日）

第1回ワークショップでは、スマートフォンやインターネットの良いところ、悪いところについてグループ討論を行い、その結果をまとめて発表しました。

### 良いところ（主な意見）

- ・音楽やゲームで暇つぶしができる。
- ・勉強に使えるアプリもある。
- ・欲しい情報が簡単に、即座に手に入る。
- ・世界中の人と繋がることができる。
- ・嫌なことがあったり、悩みがあるときにSNSで色々な人に話を聞いてもらえる。
- ・家や遠いところに居ても、安く手軽に買い物ができる。
- ・災害時でも連絡を取り合うことができる。
- ・趣味を最大限に楽しむことができる。

### 悪いところ（主な意見）

- ・使い方を間違えるとトラブルになる。
- ・勉強が手に付かなくなる。
- ・誤った情報が溢れている。
- ・SNSや写真などで個人情報が流出する。
- ・文字の伝え方を誤ると人を傷付けてしまうことがある。
- ・一度ネット上に出した情報は一生消すことができない。
- ・詐欺や乗っ取りなどの犯罪が多い。
- ・目が疲れる、首や肩がこる。

また、スマートフォンやインターネットを安全・安心に使うために、自分たちにできることを考えた結果、ワークショップの一環として、

- ・ケータイ・スマホに関する標語の作成
- ・作成した標語等を使用した啓発資材の作成・配布
- ・インターネットやスマホの使い方に関する啓発動画の作成・配信
- ・フィルタリングに関する調査の実施
- ・携帯ショップ等街頭でのフィルタリング啓発

を実施することを決めました。



## ■ひょうごケータイ・スマホアンケートの実施

第1回ワークショップにおいて、参加者が作成したアンケートを、県下全域の小学5年生から高校3年生までを対象に実施しました。

また、今年度は保護者へのアンケートも実施し、保護者のネットやスマホへの利用状況や子どものネット利用実態の把握、家庭でのルールづくりの状況などを調査しました。

・実施期間 平成30年7月2日～7月31日

### ◇子ども用

ワークショップ参加青少年作成による「ひょうごケータイ・スマホアンケート」 20項目  
 (独)国立病院機構久里浜医療センター提供による「インターネット夢中度アンケート」 8項目  
 【Diagnostic Questionnaire for Internet Addiction(DQ), Young K, 1998】


### ◇保護者用 「ひょうごケータイ・スマホアンケート」 16項目

ひょうごケータイ・スマホアンケート (小・中・高) ( )年 (男・女)

私たちは、自分たちのスマホ使用の実態を調べています。ご協力をお願いします。  
 ～ひょうごケータイ・スマホワークショップ メンバー同～

- 夜、何時ごろに寝ますか？  
 1. ～10時 2. 10時～11時 3. 11時～12時 4. 12時～1時 5. 1時～
- イライラすることがありますか？  
 1. よくある 2. ある 3. あまりない 4. ない
- 勉強に自信がありますか？  
 1. ない 2. あまりない 3. 少しある 4. ある
- あなたは携帯電話を持っていますか？  
 1. 持っていない 2. ガラケー (キッズ携帯) 3. スマホ 4. 両方
- 一日どれくらいインターネットを使っていますか？ (タブレット、ゲーム機、パソコン、保護者のものでのネット接続を含む)  
 1. していない 2. ～1時間 3. 1時間～ 4. 2時間～ 5. 3時間～ 6. 4時間～

※5. で「1. していない」に口をした人はこれで終わります。




ひょうごケータイ・スマホアンケート (保護者向け)

私たちは、スマホ使用の実態を調べています。ご協力をお願いします。  
 ～ひょうごケータイ・スマホワークショップ メンバー同～

※お子さんの情報をご記入ください (小・中・高) ( )年 (男・女)

- あなたは、携帯電話を持っていますか？  
 1. 持っていない 2. ガラケー 3. スマホ 4. 両方
- お子さんは、携帯電話を持っていますか？  
 1. 持っていない 2. ガラケー (キッズ携帯) 3. スマホ 4. 両方
- あなたは、一日どれくらいインターネットを使っていますか？ (タブレット、ゲーム機、パソコン等でのネット接続を含む)  
 1. していない 2. ～1時間 3. 1時間～ 4. 2時間～ 5. 3時間～ 6. 4時間～



## ■青少年のインターネット利用対策啓発街頭イベント (7月30日)

第1回ワークショップの話し合いで実施が決まった街頭啓発イベントを、夏休みに青少年で賑わう三宮センター街の携帯電話販売店前で、実施しました。

ワークショップに参加している中高生ら6名が、兵庫県マスコット「はばたん」や兵庫県警マスコット「こうへいくん」とともに、インターネット利用のルールづくりやフィルタリングの利用を呼びかけながら、啓発用のリーフレットやグッズを、歩行者に配布しました。



## ■第2回ワークショップ (10月7日)

第2回ワークショップでは、県下約4,400人の小・中・高校生を対象に実施したケータイ・スマホアンケートの実施結果を受けて、青少年のネット利用の現状についての討論を行いました。

参加者からは、

- ・ネットの適度な利用は気持ちも落ち着くが、過度な利用は睡眠不足でイライラしたり、勉強に集中できなくなってしまう。
- ・1日に3時間以上ネットを利用する人の割合が増えているのは、日々の連絡や調べ物にもネットを利用しているので、長時間利用にカウントされるのではないか。
- ・短い動画投稿ができるアプリが増えているので、他人の動画を観ているうちに、自分でもやってみようと思ってしまう。
- ・親からのお小遣いをコツコツ貯めて、多額のお金を課金している友達もいる。
- ・面識のない人とネットで連絡を取ることにハードルは下がっている。

等の意見がありました。

また、参加者が考えた標語の中から、「ひょうごスマホ宣言2019」を選定しました。

## ■啓発動画の作成

第2回ワークショップにおいて、参加者が考えたシナリオをもとに、ネットの「危険」「依存」「人間関係」の3つのテーマで啓発動画を作成しました。

作成した啓発動画は、「スマホサミットinひょうご2018」で上映し、啓発資材として活用することとしました。

### 『ネットの危険』

友達とスマホで撮影した写真…  
何の気なしにSNSに投稿した主人公が思いもよらぬ危険にさらされてしまいます。



### 『ネット依存』

高校入学でスマホを買ってもらった主人公。  
ゲームに夢中になって友達の誘いも断ってしまいます。  
1人でゲームばかりしている主人公の行く末は!?



### 『人間関係』

トークアプリを使って友達同士でクラスメイトのあらぬ噂話をした翌日、教室内はなぜかその噂話で持ちきりに…



## ■第3回ワークショップ（12月16日・サミット当日）

第3回ワークショップは、「スマホサミットinひょうご2018」当日の午前中に行われ、前回のワークショップで作成した啓発動画の上映、スマホサミットの打合せや進行確認、リハーサルなどが行われました。



# ■スマホサミット in ひょうご 2018

平成30年12月16日 兵庫県公館大会議室

## ■13:00 開会、主催者挨拶、来賓祝辞

「スマホサミットinひょうご2018」は、兵庫県立伊川谷高等学校 佐野 秀登さん、兵庫県立大附属高等学校 松本 侑里花さんによる司会で開会しました。

会場が約300名の来場者で埋め尽くされるなか、主催者代表として公益財団法人兵庫県青少年本部 梅谷 順子理事長が開会の挨拶をされました。

また、来賓代表の兵庫県議会総務常任委員会 春名 哲夫委員長よりご祝辞をいただきました。



## ■13:25 スマホサミットへの道のり

ワークショップや街頭イベントなど、第1回ワークショップからサミットまでの活動についてまとめた動画「スマホサミットへの道のり」を兵庫県立千種高等学校が作成し、来場者に紹介しました。

また、第2回ワークショップで作成した、ネット利用に関する啓発動画（「危険編」「依存編」「人間関係編」）を上映し、それぞれの動画に込めた思いを発表しました。



## ■13:35 文部科学省委託事業

### 「人とつながるオフラインキャンプ2018」結果報告

ネットをやめられない青少年を対象に、昨年度に引き続き実施した「人とつながるオフラインキャンプ2018」について、キャンプの参加者と、メンターを務めた一般社団法人ソーシャルメディア研究会の大学生が結果報告を行いました。

発表の冒頭には、株式会社サンテレビジョン様に制作いただいた映像を放映しました。



## ■13:50

### 「青少年のインターネット利用対策活動事例」優秀取組発表

本年7月から10月までの3ヶ月間で、インターネット利用のルールづくりやネットトラブルの対策について主体的に取り組んでいる団体の活動事例を募集した結果、県内全域の学校、青少年関係団体等、18団体から応募がありました。

いずれの取組も、青少年が主体となって実施している先進的なものでしたが、推進会議で審査した結果、特に優秀と認められた次の4団体に発表していただきました。

本キャンプ 主なプログラム			
自炊	クラフト	歌	チームビルディング
フリータイム	スイカ割り	カヌー体験	海水浴
キャンプファイアー	魚さばき	思い出工作	ワークシート(認知行動療法)

## 神戸市立湊翔楠中学校

湊翔楠中学校携帯電話・スマホ利用についての取り組み

～「いじめ防止小中地域会議」の活動を通して～



II. 2017年度、「いじめ防止小中地域会議」で  
校区内スローガンを策定

**「おもしろ半分・自分勝手な気持ちをなくそう」**

～相手の気持ちを考える～

※その他  
毎年、少年サポートセンターの方などに来校していただき、「非行防止教室」で携帯電話やスマホの危険性について学んでいる

## 兵庫県立東播磨高等学校

放送部だから、動画で広める！

「スマホの正しい使い方」



放送部だから、**動画**で広める！

「スマホの**正しい**使い方」

兵庫県立東播磨高校放送部

## 芦屋市立精道中学校

広げようスマホサミットの輪



**芦屋市スマホ3か条**

H28年スマホサミットにて作成

- ◎スマホの時間が長いほど、  
夢への道も長くなる
- ◎既読無視、したくてしている  
わけじゃない
- ◎フィルタリングしよう

## 兵庫県立大学附属高等学校

情報モラル委員会活動事例



**CIE** 兵庫県立大学附属高校  
情報モラル委員会  
The Committee of Information Ethics

**活動報告**

トップバッターの神戸市立湊翔楠中学校は、「いじめ防止小中地域会議」を通して携帯電話・スマートフォンの利用について策定したルールやスローガンを校区内へ啓発するとともに、小中学生、保護者、地域関係者と意見交換を行い、そこで得た意見や今後の課題などを発表しました。

兵庫県立東播磨高等学校は、放送部が中心となって作成し、第65回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会に出場した啓発動画「紙袋の中身」を上映し、インターネットに潜む危険や、動画制作の利点について発表しました。

芦屋市立精道中学校は、芦屋市スマホサミットで策定した「芦屋市スマホ3か条」や、生徒が実際に体験したトラブル事例をまとめた啓発動画、ネットやスマホの上手な利用を啓発するために作成した新聞などを紹介しました。

最後の兵庫県立大学附属高等学校は、情報モラル委員会(CIE)の活動について報告し、兵庫県警訪問や小学校での出前授業、生徒が先生に実施したSNS授業の様子を発表しました。

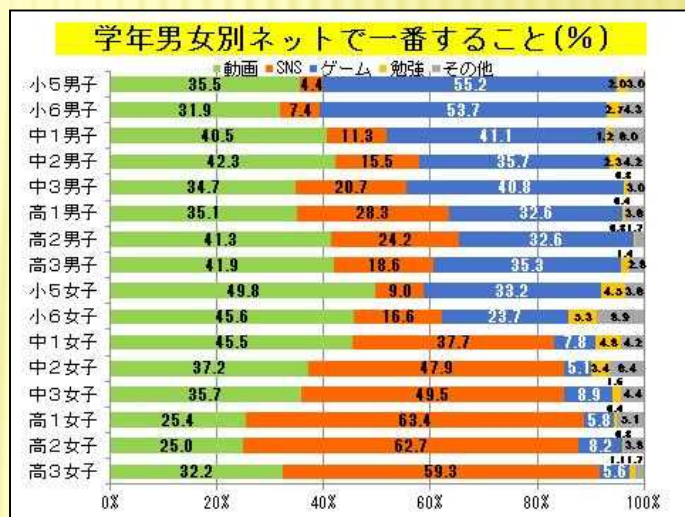
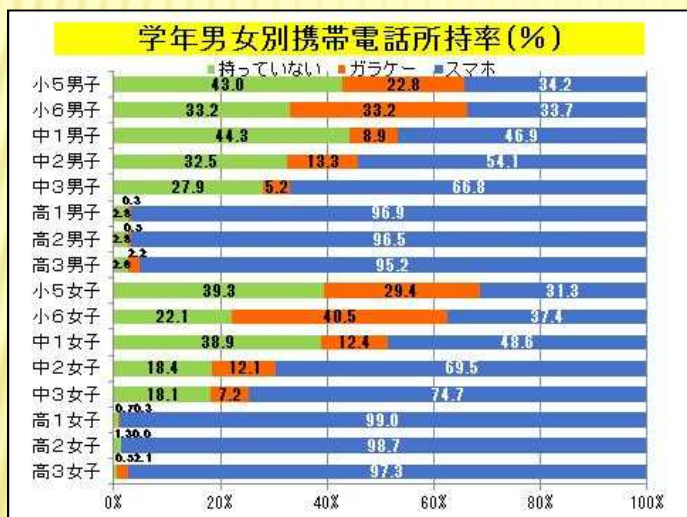
## 「ひょうごケータイ・スマホアンケート」結果報告



「ひょうごケータイ・スマホワークショップ」に参加した青少年らが作成したアンケートをもとに、県内小・中・高校生約4,400人を対象に調査、分析した結果を発表しました。

携帯電話所持率やネットで一番利用するコンテンツについて、男女別・学年別の分析結果や、ネットをしていない人、1日のネット利用時間が、しない人、3時間未満の人、3時間以上の人に分け、それぞれのネットの使い方や危険性のデータを比較しました。

調査項目	県内の小中高年生による「ひょうごケータイ・スマホワークショップ」で検討
調査対象	県内の小学5年生から高校3年生 4,381人 (小学生 922人、中学生 1,775人、高校生 1,684人)
調査時期	平成30年7月
分析	一般社団法人ソーシャルメディア研究会



小学校高学年では3割だったスマホ所持率は、中学校では学年が上がるにつれて多くなり、高校になるとほとんどの生徒が所持していました。

ネットで一番利用するコンテンツを比較してみると、男女とも約3割が動画で、さらに学年が上がるにつれて、男子はゲーム、女子はSNSの利用率が増加傾向にあることが分かりました。

ネットに接続する機器については、ほとんどの生徒がスマホを利用していますが、中にはゲーム機や音楽プレイヤーなどで接続している生徒もいました。

### 学年男女別ネット接続機器

	第1位	第2位	第3位
小5男子	ゲーム機	スマホ	タブレット
小6男子	ゲーム機	スマホ	タブレット
中1男子	スマホ	ゲーム機	タブレット
中2男子	スマホ	タブレット	ゲーム機
中3男子	スマホ	ゲーム機・タブレット	パソコン
高1男子	スマホ	ゲーム機	パソコン
高2男子	スマホ	ゲーム機	パソコン
高3男子	スマホ	ゲーム機	パソコン
小5女子	スマホ	ゲーム機	タブレット
小6女子	スマホ	タブレット	ゲーム機
中1女子	スマホ	タブレット	ゲーム機
中2女子	スマホ	タブレット	音楽プレイヤー
中3女子	スマホ	パソコン	タブレット
高1女子	スマホ	パソコン	音楽プレイヤー・タブレット
高2女子	スマホ	音楽プレイヤー	ゲーム機・パソコン・タブレット
高3女子	スマホ	音楽プレイヤー	ゲーム機・タブレット・テレビ